

1. 科目名 (単位数)	家族療法特殊研究 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP9289
2. 授業担当教員	鶴 光代		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修の条件として、先に「家族心理学特殊研究」の履修を済ませていることが望ましい。		
7. 講義概要	<p>家族内の人間関係の質は、我々人間の成長・発達には不可欠なものであるが、そこに新しいシステム論が加わり、そこから家族療法という心理療法の立場が生まれている。</p> <p>ここでは家族療法の3つの立場を通して、理論・実践とその課題を学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<p>次のことを理解していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. システムアプローチと家族療法 2. ボーエンの家族システム理論 3. ミニューチンの家族構造療法 4. MRIの家族相互影響アプローチ 5. その他の家族療法 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>レポートの課題は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ボーエンの家族システム理論の特色を考察せよ。 2. ミニューチンの家族構造療法の特色を考察せよ。 3. MRIの家族相互影響アプローチの特色を考察せよ。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 遊佐安一郎著『家族療法入門』星和書店。</p> <p>【参考書】 平木典子・中金洋子著『家族の心理』サイエンス社。 リン・ホフマン著『家族療法学』金剛出版。 リン・ホフマン著『家族療法の基礎理論』サイエンス社</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 システムアプローチ、ボーエンの家族システム論、ミニューチンの家族構造療法などの理解度に応じて評価する。</p> <p>○評定の方法 ・家族療法に関する論文を読み、その内容を考察し、発表する 50% ・レポート 50%</p> <p>*出席が4分の3を満ちてはじめて評価の対象となる。(論文の考察発表やレポートを提出しただけでは評価対象にならない。)</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>家族療法は、その重要性は十分に知らされながら、しかしその実践はまだ十分になされていない。抱えている問題は個人のものであるが、家族というシステムから発生し、かつその問題の継続に家族がかかわっているという考え方になじまないからであろう。</p> <p>しかし、我が国は、ちょっと前までは家族主義と言われた文化であった。そういう意味では欧米よりもこの療法の意味が深いと思われる。家族療法に興味と関心のある学生とぜひ一緒に学びたいと思う。</p>		
13. オフィスアワー	後日通知する。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	1. 家族療法とは何か		
【学習の内容】	全体構造、実践活動、研究活動、専門活動、その歴史		
【学習の課題】	教科書：pp.1～11を読みまとめておく。 家族療法が今日に至る歴史についてまとめておく。		
2. テーマ	2. システムズ・アプローチと家族療法 (1)		
【学習の目標】	システムの特性並びに生物体システムの7つのレベルを理解する。		
【学習の内容】	一般システム理論・システムの分類法・一般生物体システム理論		
【学習の課題】	教科書：pp.13～36を読みまとめておく。		
3. テーマ	システムズ・アプローチと家族療法 (2)		
【学習の目標】	システムズアプローチを診断する6つのステップを理解する。		
【学習の内容】	一般生物体システム理論と家族療法・システムズアプローチと家族療法		
【学習の課題】	教科書：pp.36～61を読みまとめておく。		
4. テーマ	3. ボーエンの家族システム理論 (1)		
【学習の内容】	背景・健全な家族像と家族病理・家族システムの不適応の評価		
【学習の課題】	教科書：pp.63～94を読みまとめておく。 ボーエン理論の歴史的背景についてまとめておく。		
5. テーマ	ボーエンの家族システム理論 (2)		
【学習の内容】	家族システム療法の実践・適応症・訓練		
【学習の課題】	教科書：pp.95～105を読みまとめておく。 セラピストの機能についてまとめておく。		
6. テーマ	4. ミニューチンの家族構造療法 (1)		

【学習の内容】	背景・基本的概念・健全な家族と家族病理
【学習の課題】	教科書：pp.107～120を読みまとめておく。 この立場での健全な家族と家族病理についてまとめておく。
7. テーマ	ミニューチンの家族構造療法 (2)
【学習の内容】	家族構造の評価と治療の目標・家族構造療法の実際
【学習の課題】	教科書：pp.120～130を読みまとめておく。 本療法の具体例を探し、まとめておく。
8. テーマ	ミニューチンの家族構造療法 (3)
【学習の内容】	家族構造療法の技法・適応症・訓練
【学習の課題】	教科書：pp.130～164を読みまとめておく 家族構造療法の技法をまとめておく。
9. テーマ	5. MRIの家族相互影響アプローチ (1)
【学習の内容】	歴史的背景・理論的背景・家族相互影響の理論
【学習の課題】	教科書：pp.165～204を読みまとめておく。 本療法の理論的背景をまとめておく。
10. テーマ	MRIの家族相互影響アプローチ (2)
【学習の内容】	健全な家族と家族病理・MRIでの家族療法の実際
【学習の課題】	教科書：pp.204～231を読みまとめておく。 家族病理のコミュニケーションの特色をまとめておく。
11. テーマ	MRIの家族相互影響アプローチ (3)
【学習の内容】	MRI短期療法の効果・適応症・訓練
【学習の課題】	教科書：pp.231～234を読みまとめておく。 本療法の適応症についてまとめておく。
12. テーマ	6. 家族セラピスト
【学習の内容】	カール・ウイタカ・家族療法チーム
【学習の課題】	教科書：pp.235～254を読みまとめておく。 家族療法のチームのあり方についてまとめておく。
13. テーマ	7. 家族療法の技法 (1)
【学習の内容】	アサイメント
【学習の課題】	アサイメントに関する論文を読む。 一つのアサイメントを体験しておく。
14. テーマ	家族療法の技法 (2)
【学習の内容】	介入方法の実習
【学習の課題】	介入に関する事例研究を読みまとめておく。 受け持っているケースへの介入方法について考えてみる。
15. テーマ	家族療法のスーパービジョン
【学習の課題】	家族療法のスーパービジョンについての論文を読んでおく。 スーパービジョンの問題点を考察しておく。